

令和5年4月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

人の流れが活発になり、個人消費が持ち直していることから、サービス業や商店街、運輸業などの非製造業を中心に売上げが増加している一方で、原材料費や電力料金等の高騰に価格転嫁が追い付かず収益を圧迫していることから、景況DI値は横這いが続いている。

また、多くの業種で販売・受注が増加しても対応できる人手の確保が困難であることや、今後も原材料費の値上げ要請や電気料金の引き上げが見込まれることから、先行きは不透明な状況が続いている。

山口県の主要指標 DI 値（令和5年4月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：6.3% 悪化：36.3% DI 値：▲30.0% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、増加：22.5% 減少：32.5% DI 値：▲10.0% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：12.5% 悪化：37.5% DI 値：▲25.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和5年4月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
----------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲25.0	▲50.0	▲100.0	▲50.0	▲50.0	▲25.0	▲33.3	▲40.7
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲40.0	▲62.5	▲40.0	▲9.1	▲27.3	28.6	0.0	▲23.0
							

全体
▲30.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の値上げが続き厳しい状況である。	調味料製造業
	延長された全国旅行支援が終わり、今後の売上を不安視している。組合員の減少に合わせて組合の収入が減少し、決算において固定費の占める割合が高くなり、組合が取り扱う小豆、もち米の手数料を改定することになった。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	4月から販売価格を8%値上げしたが、原材料の値上げの要請が続き収益が上がらない。サンドイッチの卵は4割、液卵は5割など、メーカーが卵を使用した加工品の出荷制限をしているため、一部の製品の内容変更や製造中止を行った。	パン・菓子製造業 下関市
	水産物、水産加工品等の地産地消への見直しが必要と思う。さらに組合員が事業活動を通して地域経済の活性化に貢献してもらうためにも、後継者の育成が必要である。	水産食料品製造業 長門市
	業況は少しずつコロナ前に戻りつつあるが、世界情勢等で値上がりが続いており、売上は増加しても利益面では厳しくなっている。ここ最近の光熱費の高騰、人件費の上昇は中小企業にとって厳しい状況である。補助金等で補える範囲ではないので早く落ち着いてほしい。	水産食料品製造業 下関市
	暖かくなり、新年度の開始と同時に様々なものが大きく動き出した。売上が伸びると活気が戻ってきたことを実感できる。これからの課題は担い手の確保である。地域の活性化に協力してくれる方に期待したい。	食料品製造業
	新型コロナも収束傾向で、飲食店等もほぼ通常営業となり、売上の減少は軽微なものとなった。米価については引き続き低迷し、原油価格の大幅な上昇とロシアのウクライナ侵攻による原料不足等による肥料、燃料など各種コストの大幅な増加により、製造原価が上昇し、事業経営がさらに苦しい状況となっている。各種生産資材の値上げが続いているなかで、取引先によっては、値上げを拒否するところもあり、農業者には原価割れの状況が続いている。4月は例年になく雨量で農作物への被害が懸念されている。政府の地球温暖化対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築など、水素循環型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。中国からの輸入に頼っているリン酸の価格も上昇し、肥料価格が前年比150%アップという驚異的な結果となった。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、対策費の継続と食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要、また、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要で、今年度からインボイスへの対応が求められるが、併せて、電子帳簿保存法への対応も必要となっている。	精穀・製粉業

繊維工業	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきて、市場は活気を取り戻すであろうが、資材不足、人材不足の上に、販売量が未知数なため、生産量を増やすことは出来ないの、生産量と売上の横ばい状態が続くと思われる。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	今年度は総会を3年ぶりに開催する。公共工事等があれば業界も盛り上がるのだが、組合としての活動は皆無である。	製材業・木製品製造業 岩国市
	組合員の平均売上額は、コロナ禍の令和4年4月と比べ10%の減少。資材高騰による受注量減少、新設住宅着工数減少の流れを感じる。針葉樹の価格は下落傾向、広葉樹は引合いが強く、価格が下がらない。人口減少による働き手不足と、業界の景気後退が深刻な状況である。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	例年4月は年度当初で仕事が切れるところだが、本年は引き合いが多く、工場も忙しく稼働していた。	印刷業 山口市
	本年のゴールデンウィークは例年の1.5倍の人出が予想されるなど、コロナにより抑制されていた反動が若年層を中心に広がりつつある。経済が回れば景気も上向いて行くだろうが、一番の問題点は少子化に伴う人口減少とそれに伴う市場規模の縮小である。印刷業界の市場規模はペーパーレスという時勢の影響により年々縮小しているが、人口減少、とりわけ若年層の人口減少が市場の縮小を招くことは明らかであり、経済成長は見込めず右肩下がりに成らざるを得ない。長期的視野からの根本的な対策の立案が必要であると感じられる。	印刷業 下関市
窯業・土石製品	4月に入り「セメント値上げ」の打診が各メーカーからきている。砕石の値上げ打診や電気代アップ等により、価格高騰は否めない状況が続いている。令和5年度も値上げ依頼の活動からのスタートとなり苦しい状況である。	コンクリート製品製造業 柳井市
	1月に値上げを実施した。建設物価調査会価格は5月より上がるが、経済調査会の価格はまだ上がらないので、早めに実績提示して現況に合う価格で発注してもらえよう活動中である。	コンクリート製品製造業 防府市
	出荷量は、前月比106%、前年同月比86%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定しているが値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	経営者の高齢化・後継者不足である。従業員をたくさん抱えている事業所が必要以上に仕事を取るため、同業者の仕事の激減を招いており、今後の方向性を再度考える時期にきていると感じている。	石工品製造業
	萩市内で外国人観光客が多く見られるようになり、個人の外国人観光客もさることながら、団体客も多く見られるようになった。4月11日小樽出航のクルーズ船ル・ソレアル（フランス10,700t）の船内ブティックで萩焼を販売することになった。萩市には4月18日に寄港（沖合に停泊）し、多くの乗客が市内観光や買い物をした。5～6月にかけて2回の乗客の入れ替えがあり、その期間も船内での販売を予定している。4月23日にもヘリテージ・アドベンチャラー（ニュージーランド船籍8,445t）が萩市に寄港。	陶磁器・同関連 製品製造業

<p>一般機器</p>	<p>年度初めであるが、どの組合員企業も忙しい模様。半導体製造工場建設関係の仕事に携わっている企業が多い。5月からの周南コンビナート定修工事の準備等で忙しくしている企業もある。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>業況は変わらない。製造原価は上がっているが、売値がなかなか上がらない。購入品の入手難は変わらず、納期が先延ばしになっている。製品価格が高くなり、設備投資の金額が低下、受注に影響している。人手不足だけでなく、若い人の教育に苦勞している。鉄工業界に限らず近年、後継者不在の他に人手不足を理由に事業の継続が困難と判断し、倒産・廃業を余儀なくされる企業が増えている現状に、「人材確保の重要性」を感じる。個々の企業が自社の強みを明確にし、企業としてのブランド戦略を展開できるように心がけたい。建設業界も待ったなしの一年となりそうである。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>円安については落ち着きを見せ金融情勢は安定してきてはいるが、ロシアのウクライナ侵攻に伴い世界情勢が不安定化し、中国、アメリカ、EU、日本等の経済摩擦も引き起こし、資源高・資源不足により企業収益に大きな影響が出ていて先が見えない状況である。貿易収支も大幅な赤字が続いており、これに関連して電気、ガス料金にとどまらず、物価のアップは中小企業にとって大きな負担となっている。早急に元受企業の発注単価の改善が必要である。企業の国内回帰、インバウンドの回復等明るい材料もあるが、地方経済への波及効果は限定的である。大手企業の賃上げが進む一方、中小企業の賃上げはままならず、賃金格差は広がるばかりで、サービス業において特に人材の確保が困難な状況である。外国人の人材確保でも、日本の低賃金、円安の影響は大きく、欧米、カナダ、台湾、韓国との人材確保競争は厳しく、日本は脱落気味である。国内での競合も激しく都会の高賃金に対抗できず、地方においては募集しても人が集まりにくいだけでなく、高賃金を求めて転籍も多い状況が継続している。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
	<p>厳しい状況に変わりはないが、国内の個人消費が持ち直していることを踏まえて今後に期待したい。</p>	
	<p>受注はあるが、人手不足である。</p>	<p>一般機械器具製造業 下関市</p>
<p>輸送機器</p>	<p>鉄道車両関係の現状は順調に推移しているが、令和6年度（2024年度）から受注量は減少となる見通し。原材料費や電気料等の水道光熱費の高騰により、収益が悪化している。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予定よりも大幅に受注量も減少してきており、引き続き今後の受注動向を注視したい。(株)日立ハイテクが下松市笠戸島に製造棟を新設し、令和7年度（2025年度）に生産開始予定で、部品製造業として受注量増加が見込まれる。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>保管料金の値上げと海産物の入出庫が大幅に増加したことにより、倉庫売上は前年及びコロナ前に比しても大幅に増加した。現状はソーラー発電を始めたことと収益の増加により電気料金の値上げに対応できている。</p>	<p>乾物卸売業</p>

	<p>運賃、箱代等経費が高騰しているが、十分な価格転嫁ができていない為、収益が悪化している。人手不足と言われているが、組合員企業では、従業員数の増減はあるものの営業活動での影響は小さい。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>仕入価格の高騰による資金繰りに苦慮している。</p>	各種商品小売業
小売業	<p>売上は、少しずつ伸びている店舗もあれば、厳しい店舗もある模様。インショップでは自店での努力も必要だがデベロッパーの良し悪しが影響するようである。各メーカーもマスクを外す人がだんだん増え、カウンセリングのある専門店の存在価値を高めており、新たに参入するメーカーも増えている。これから売上げを増やすには商品施策だけでなく、お客様に期待以上の感動や満足感を与えることを伴わなければならない。専門店の強みを前面に行動できれば伸びていくと思われる。</p>	化粧品小売業
	<p>コロナも 5 類へ引き下げになり、少しずつ回復に向かっているが、再開発の工事の影響で、あまり人通りが増えていない。「おさんぽマーケット」等、月一回程度のイベント開催日は、たいへん賑わっている。物価上昇の影響もあり、消費の伸び悩みに繋がっており、来店サイクルが長くなっている現状である。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>4月の売上状況は、前年同月比約5%減少。来館者数は約8%減少。前年同月と比べ祝日（休日）が1日減。観光需要喚起策である旅行支援事業が前年同様に実施され、第1週目から第4週目まで概ね売上水準は前年並みであった。GW前半の祝日減少と悪天候が影響した結果、売上が落ち込んだ。5月連休後は旅行支援事業が終了するため平日の売上確保が課題となる。経費については、電気代が前年同月比約39%増加するほか、仕入価格の上昇に対し価格転嫁が十分に行えず収益への圧迫が続いている。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>4月は、日曜日の4日程、休業としたため、供給高は対前年比93.9%、来店者数87.6%であった。マスクの着用が個人の判断になり、未着用の人が増えてきた。地域での交流会も始まっている。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>大型連休を前にして飲食、物販、サービスとも消費活動は活発化してきた。大手小売業の市況は回復したが、中小零細の小売店、地方都市の小売業の回復は遅く、人口10万人程度の地方都市では、売上が伸びるものではない。飲食業に限っては、宴会など大口売上の機会が戻る傾向にあるが、一方でアルバイト等の人手確保が難しい。光熱費や物価上昇で資金繰りは良くなっておらず、日中の人出が激減していて、街は明らかに夜型となっている。</p>	岩国市
	<p>年明けからの食料品の値上げラッシュで原価が大幅に上昇した飲食店は、経営が苦しくなった模様。年末に値上げをしたばかりで値上げが出来ず、苦しくなるばかりの模様である。</p>	山口市
	<p>物価高がボディブローのように効いている感覚。宇部市のプレミアム商品券事業に期待する。</p>	宇部市

	暖かくなり、人の通りも少し多くなった。セールを開催した店舗では「売上は多くは見込まれないが、お客の出入りも多少増加し徐々に増えればよい。」と店主が話す。	萩市
	気候が良くなったのに、人通りが少ない。商店街も仕入価格の上昇により、やむを得ず販売価格を値上げしたところ、それに伴い買い控えが起きているという悪循環に陥っている。	下関市
サービス業	入学式や歓送迎会等イベントが通常通り開催されるようになり、美容室への客足も平常通りになってきた。カラーやカットの価格競争の影響を受けている店舗がある模様。	美容業
	コロナによる行動制限が解除され人の流れが活発になってきており、前年より好転しているが、原材料費や光熱費等の高騰による影響を危惧している。	理容業
	令和 4 年度の自動車の新車・新規台数は、登録車が 33.745 台で対前年比 98.6%、軽自動車が 28.519 台で対前年比 107.3%と軽自動車は 8 ヶ月連続でプラスに転じており、登録車と明暗を分けた。登録車の台数は、平成 30 年から連続でマイナスを記録しており、本年度と比較すると 79.4%でコロナ禍の影響をもろに受けている。各メーカーの生産台数が向上していることから、納期が短縮傾向にあるといわれており、令和 5 年度は巻き返しが期待される。	自動車整備業
	会費の値上げをしたので売上高は増加したが、電力の値上げ率が異常で会費の値上げをしても追いつかない。電力価格の上昇等で家計が圧迫されているのか入会動向が鈍い。新型コロナが 5 類に引き下げとなるので、屋内施設でもマスク無しで運動できるような雰囲気にならねばと願う。	スポーツ・健康教授業
	4 月前半は気温が高かったこともあり、「久しぶりに繁忙期らしい忙しさだ。」という声を組合員からも聞くことができた。資材が高騰し利益を圧迫することは今後も続くと思われるため、いかに貯えを作って繁忙期を終えるか、繁忙期を終えた後に売上を落とさない工夫が各店で求められるように思う。	普通洗濯業
	売上も収益も増加してきた。引き続き営業努力を頑張っていきたい。	飲食業
	全国旅行支援が 4/17 で終了し、大きく減少するのではと危惧していたが、前年同月比 122.4%、宿泊人員 124.9%と大幅に増加した。コロナ前の令和 31 年（2019 年）4 月との比較では、売上 82.2%、宿泊人員 102.2%となる。今後早急に売上の拡大を図る施策を検討する。	旅館業 山口市
	一部の料金を値上げしたが月額売上高は変わらず。燃料費の高騰は収益及び資金繰りに大きく影響する。電気代は年初めより燃料調整額が減額となったが、高値止まりしている。コロナ感染症対策の緩和で、観光客の増加が見込めるも、地方への波及は遅くなると思われる。	旅館業 長門市
	4 月には県の旅行支援があったので、コロナ前か、コロナ前以上の集客があったが、人手不足で全室を稼働できない状況であった。春休みもあり、観光客の 3 割強が全国旅行支援を利用した。	旅館業 下関市

建設業	中電への工事申請 74 件(当支部 56 件)、前年同月 178 件(同 156 件)。太陽光発電への申請 10 件(前年 42 件)、オール電化申請 68 件 (前年 59 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 6 件(前年 14 件)であった。	電気工事業
	落ち込んでいた工事量も夏から回復に向かう見込み。建材価格の上昇は平均 2 割となり、土曜日休日の増加による月間の稼働日数の減少を考慮し、見積価格を 10%強値上げした。	左官工事業
	4 月の官公需入札はなかった。令和 5 年度の官公需発注に期待をしている。事業所は絶えず人員の募集をしているが応募が無い状況で人手不足が続いており、技術者も減少している。業界として何か取り組むべきではないかと感じている。	管工事業
	新型コロナが収束の傾向にあるものの、不安が残る。感染拡大の悪循環が経済活動に甚大な影響を及ぼしていることから、5 月には 5 類に引き下げられるが、予断を許さない。土木建設業界では、三隅・長門道路の予算が付いたことで、明るい兆しを感じる一方で、建設業の働き方改革の実行年度 (2024 年) が迫り、中小の事業所ではその対応に苦慮している。発注側の指針では、現場労働環境の改善が、様々な手法で図られることを要請しており、入札時の加点制度に容易に対応できないとの問題がある。この 15 年で淘汰が進み、辛うじて存続している事業所も多くは安定経営に至っておらず、有能な技術労働者の確保、若年労働者の雇用等多くの課題を抱えている。	一般土木工事業 柳井市
	4 月の受注高は、対前年同月比 94.1%。今年度の累計では、対前年比 79.7%。	一般土木工事業 萩市
	一部の瓦の仕入れ価格が再値上げとなったが、実施時期までの猶予期間が短く対応に苦慮している。全日本瓦工事業連盟での会費の値上げが必至の状況のため、会員に転嫁せざるを得ない状況であるが、納得を得られるか疑問が残る。新築着工件数が減少傾向にあり、先行きが非常に不透明である。	屋根工事業
	現状は忙しいと話す組合員が多いが、図面決定の遅れや工事の遅れが生じており苦慮している。見積物件数は例年並みに少ないが、改修工事が多く新規物件が少ない。4 月から一部の材料の再値上げ通知もあり、適正価格での受注が重要だと考えている。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は輸出向け、国内向け輸送量ともに伸び、売上はやや増加となった。ドライバーの高齢化と若年層の人材不足が目立ってきた。燃料関係は前月より 1 円の値下げとなり、需要側にとってはプラスとなったが、軽油引取税は何かかならないかとの声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	自動車関連の組合輸送取扱高は前年同月比で 250%のプラスとなったが、前年度はコロナ禍で特に落ち込みが激しかったこともあり、コロナ前の水準には依然として遠く及ばない状況である。保管庫事業については、賃料値上げ改定もあり順調に推移している。	一般貨物自動車運送業 防府市
	輸送量は増加しつつある。製造業関係の依頼が、輸送・倉庫保管ともに増加している。生産請負に関しても案件が増加傾向。雇用に関しては未だ人員不足の状況が続いている。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+35.3%（令和5年3月1日～令和5年4月20日分）だった。3月1日～31日分は+44.4%、4月1日～20日分は+19.7%。前々年度比では、それぞれ+8.8%、+5.7%、+14.5%になった。回復しているように見えるが、前年、前々年が大幅に減少したためであり、平成30年度3月分比（コロナ禍以前）では▲23.8%。まだまだ回復しているとは言えない。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。3月分については、周南+45.2%、下松+41.4%、光+53.9%、防府市地区が+27.7%で、組合員の全域では+47.8%、地区外（員外）+25.1%、合計+44.4%(+5,386千円)だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月765.0/トンが今月642.5\$/トン）、フレート（輸送）コストも下がった（前月10,000円/トンが今月9,800円/トン）。為替は円安（前月133.75円/\$が今月134.92円/\$）となり、燃料単価は前月より▲9.2%下がり、前年4月比も▲14.4%と下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）こともあって慢性的に不足している。高齢乗務員が退職し、その補充ができない状況。時間帯によっては、駅のタクシー乗り場で車両が来ないため利用客を待たせている模様。Withコロナで、行動規制が緩くなり、需要が回復傾向にあるが、まだコロナ前（平成30年度）の需要の▲24%付近であり、まだまだ厳しい経営状況の模様。運賃改定の動きがあるが、山口県内の認可はもう少し遅れそうである。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>4月は取扱高が増加し、収益も好転した。来月も増加すると思われる。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>業界の動きは停滞したままである。介護業界の人員不足は変わらず、募集もハローワークや情報誌に多数掲載されている。新卒採用が見込まれる3～4月にかけては、技能実習生だけでなく中途採用者の雇用枠も減ると思われる。新型コロナウイルス感染症が5類となり、経済が回復することにより、介護業界の更なる人材不足が懸念される。5月以降は技能実習生の雇用を考える施設が出てくることを期待する。</p>	<p>介護事業</p>